

令和3年度第一回京都市動物愛護推進会議 摘録

1 開催日時

令和3年8月19日(木) 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

京都市役所分庁舎 4階 第4会議室

3 出席者(敬称略)

<座長>

森 尚志 (公益社団法人京都市獣医師会 会長)

<委員>

上村 享 (近畿ケネル協同組合 理事)

大國 智子 (市民公募委員)

岡村 公子 (京都市地域女性連合会 常任理事)

鍵村 佳江 (京都市教育委員会総合教育センター指導室 指導主事)

古橋 博昭 (公益財団法人関西盲導犬協会 常務理事)

升光 泰雄 (公益社団法人京都市私立幼稚園協会 監事)

松岡 幸子 (認定NPO法人アンビシャス 理事長)

村田 裕史 (公益社団法人京都市獣医師会 副会長)

山崎 陽子 (京都市保健協議会連合会 副会長)

<事務局>

安部 康則 (医療衛生担当局長)

志摩 裕丈 (医療衛生推進室長)

南 秀明 (医療衛生推進室医療衛生センター長)

塩田 豊 (京都動物愛護センター 担当課長補佐)

西原 和美 (医療衛生企画課生活衛生担当課長)

河野 誠 (医療衛生企画課動物愛護係長)

4 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 内容

報告事項

京都市動物愛護行動計画に基づく取組について(令和2年度実績)

協議事項

第二期京都市動物愛護行動計画に基づく具体的な取組について

(5) 閉会

5 会議録

- 【座長】 報告事項「京都市動物愛護行動計画に基づく取組について（令和2年度実績）」について、事務局から説明をお願いします。
- 【事務局】 資料1により説明。
- 【座長】 ただいまの説明について、御意見、御質問はありますか。
- 【委員】 京都市動物愛護事業推進基金への寄付について、令和2年度は件数が増えている。何か特別な取組をされたのですか。
- 【事務局】 昨年度はコロナの影響でペットを飼う人が増え、また動物を保護する団体等が引き取った動物も増えたという報道も多かったように思います。そういった中で、協力いただける方が多かったのではないかと推測しています。
- 【委員】 京都動物愛護センターはフードの寄付を受けていないのですか。
- 【事務局】 現在日本ヒルズ・コルゲート株式会社様とネーミングライツ契約を締結しており、フードについては十分な量の寄付は受けているところですが、ボランティア等の方から寄付をいただいた場合も、ありがたく活用させていただいています。
- 【委員】 殺処分数についてこの資料では犬猫の内訳を示していない。その大半は猫であり、そういった実状を示すべきではないでしょうか。
- 【事務局】 京都市動物愛護行動計画について、第一期の計画では犬猫合わせた殺処分数を数値目標としておりましたが、第二期の計画ではそれぞれの数値目標を設けております。また、野良猫の子猫の殺処分数が非常に多いことから、国が示した基本指針にある殺処分の区分②を重点的に減少させるよう目標を設定しております。
- 【委員】 犬の殺処分数について、京都市は少ないが、全国的にはまだまだ多いところもあります。京都市の数値だけを見て、犬の殺処分が少ないと思われる方がいないように、伝え方に気を付けた方がいいのではないのでしょうか。
- 【事務局】 京都市内においても、動物愛護センターの収容数が、現状をすべて表している訳でないと考えており、誤解を生まないような情報発信に努めてまいります。
- 【委員】 様々なイベントを実施されていますが、どのように市民に紹介されているのでしょうか。譲渡の取組や殺処分の現状について、まだまだ知られていないと感じることがあり、気になりました。
- 【事務局】 動物愛護センターのホームページやSNSを利用して情報発信しております。しかし、まだまだ発信が不十分と感じるところもあり、第二期計画でも情報発信の強化を新たな取組として定めています。より効果的な方法について、委員の皆様から忌憚のない意見をいただき、参考にさせていただければと考えています。
- 【委員】 きょうとアニラブクラスの実績がここ数年横ばいになっていますが、これ以上実施することは難しいのですか。
- 【事務局】 実施を希望いただいた学校にはほぼ行かせていただいている状況です。
- 【委員】 数だけを見てもっと実施できるのではないかと感じます。校長会等での周知はされていますか。
- 【事務局】 毎年、きょうとアニラブクラスや副読本の活用依頼について、校長会で説明させていただいております。
- 【委員】 授業の内容は担任の先生が決めています。アニラブクラスを校長先生が知っていても、担任の先生は知らないケースがあると思われそうです。
- 【委員】 一度実施された学校は校長先生や担任の先生が変わっても継続してくれているケースが多い気がします。また、秋に実施を希望されるところが多いため、今の実施数でもスケジュールはタイトに組まれています。
- 【委員】 教員を対象にしたアニラブクラスは実施できないのですか。

- 【委員】 以前、教員を対象として研修会という形で実施したことがありました。現在はコロナの影響もあり研修会も中止となっております。
- 【委員】 アニラブクラスを映像で残すことはできないのですか。
- 【委員】 個人情報保護の観点から、子供さんの顔や服装などが写るだけでもNGが出るので、アニラブクラスをそのまま映像とすることは難しいと思われます。
- 【事務局】 昨今のコロナの影響もあり、映像コンテンツの作成を検討しております。また、コンテンツを作成するだけでなく、教育現場で活用していただける方法もあわせて考えていければと思っております。
- 【委員】 京都市は犬の飼い主に対して、死亡届や変更届を送っていると思うのですが、これは以前から実施されていることなのですか。
- 【事務局】 令和元年度から実施しています。
- 【委員】 死亡届を出されない方もいるかと思えます。犬の情報を把握している動物病院等から情報が伝わる仕組みを作れないでしょうか。
- 【事務局】 台帳の整理についてはかねてからの課題でありますので、情報把握の仕組みを検討してまいります。
- 【座長】 では、ここで室内換気のため5分間小休止をとらせていただきます。
- 【座長】 会議を再開いたします。協議事項「第二期京都市動物愛護行動計画に基づく具体的な取組について」説明をお願いします。
- 【事務局】 資料2により説明。
- 【座長】 ただいまの説明について、御意見、御質問はありますか。
- 【委員】 高齢者等への取組がありますが、ケアマネジャーの方はすでに大きな負担がかかっている中で働かれていると思います。この取組がさらに負担を強いることとなりませんか。
- 【事務局】 ケアマネジャーの皆様にごできるかぎり負担とならないようにしていきたいと考えております。一方で、動物の問題に直面した際にどうすればいいか分からないため、抱え込んでしまわれている。相談先が分かるだけでもありがたいといったお声もいただいております。どのようにすれば負担を低減できるのか、実際に出来ることを検討してまいります。
- 【委員】 市役所内の福祉担当とも連携すべきではないでしょうか。高齢者と関わりのある部署からの情報提供があれば、問題を初期の段階で探知できるはずです。
- 【事務局】 まさにそのとおりでして、まずは関係部署に相談先を示すことから進めてまいります。研修会やセミナー等で、動物愛護センターの取組等を示していくことが、社会福祉施策との連携の第一歩になるのではないかと考えています。
- 【委員】 地域の方が問題を探知されるケースも多く、そのような場合に相談できる先が必要ではないかと感じています。SOSダイヤルのような制度を設けてはどうでしょうか。
- 【事務局】 そういった取組も重要ですが、まずは問題となる前の方策から取り組んでいきたいと考えております。
- 【委員】 動物愛護の教育ですが、学校で犬を飼育して子どもたちと触れ合う機会を設けるというのはいかがでしょうか。
- 【委員】 世話の問題等、課題が多いと思います。
- 【事務局】 昔は学校でうさぎ等が飼育されていましたが、世話の容易な昆虫や植物を飼育する学校もあります。学校で飼育する動物に替わって、いのちに触れる機会を提供するきょうとアニラブクラスが始まったという経緯もあります。
- 【委員】 高齢な方の多くは、最後まで世話ができるか分からないという気持ちで新しくペット

を飼うことを諦めている。途中で世話ができなくなった時に、次の飼い主につなぐような仕組みを作ることはできないでしょうか。

【事務局】 実際に、そのようなサービスがあれば飼育されるのか、それともサービスはあっても自分で最後まで飼いたいという思いをお持ちなのか、どのようなニーズがあるのかをまずは把握することから始めたいと思います。

【委員】 市民や獣医師等からの相談に対して動物愛護センターでは、担当者が決まっているものなのでしょうか。様々なところと連携を進めるに当たり、適切に対応できるよう担当者を決めるなど、対応の在り方について考えていただきたい。

【事務局】 御意見を真摯に受け止め、動物愛護センターのどの職員でも適切に対応できるよう取り組んでまいります。

【座長】 それでは時間となりましたので、質疑を終了させていただきます。事務局には本日の意見を計画に反映していただければと思います。進行を事務局へお返しします。

【司会】 議事進行ありがとうございました。

これをもちまして本日の会議を終了させていただきます。ありがとうございました。